



山形県・温海町森林組合の土場には、農家林家が自ら切って持ち込んだ短尺材がいくつも山積みになっている。この日、「夏休みの自由研究」で組合の「サラリーマン林太郎」(p50)にお父さんと参加した菅原健くん(小2)と太陽くん(小1)もビックリ
写真=奥山淳志

「木は切っても
カネにならない」は
本当か？

いまどき木は二束三文だから、切るだけ損。

かえてコストがかかって赤字になる——という「常識」は本当だろうか？

人に頼まず自分で切ったり、仲間です具を融通したり、売り方を工夫したり……

「意外とイケルよ」という小さい農家林家が増えてきた。

いまこそ、山を宝に変えるとき。